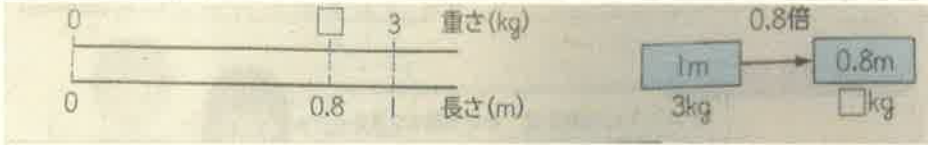


課題 かけ算の積の大きさについて調べよう。

1 mの重さが3 kgの鉄のぼうがあります。この鉄のぼう0.8 mの重さは何kgですか？式に書きましょう。



式 3×0.8

さくらさんの計算をヒントに青のくうたんをうめましょう。

さくらさんの考え

8mの重さは、 3×8

0.8mの重さは、その $\frac{1}{10}$ だから、 $3 \times 0.8 = (3 \times 8) \div 10 = 2.4$ kg

さくら: 8mの重さの $\frac{1}{10}$ と考えました。

$3 \times 0.8 = \square$
 $\downarrow \times 10 \quad \downarrow \times 10 \quad \div 10$
 $3 \times 8 = 24$

0.8を10倍すると小数点が右に1つ移動して整数になります。整数で計算した答えの24を10でわると、求めたい答えになりますね！
自分で計算してみましょう。さくらさんの計算をヒントにして計算しましょう。

$3 \times 0.8 =$

(省略)

答え 2.4

次の問題に取り組みましょう。青のくうらんに答えを書きましょう。

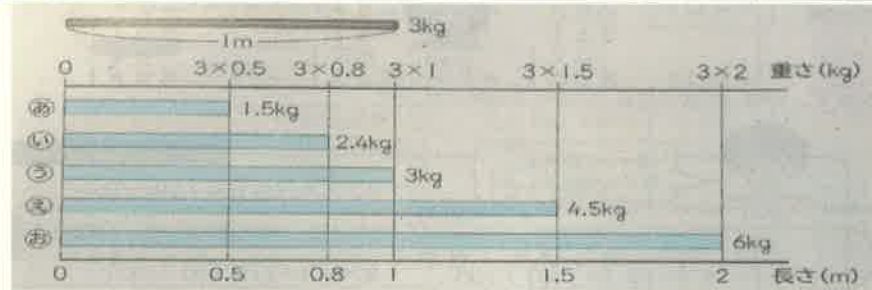
1mの重さが3kgのぼうを、次のような長さに切りました。

あ	い	う	え	お
0.5m	0.8m	1m	1.5m	2m

ア それぞれの重さを、式にかいて計算しましょう。

あ $3 \times 0.5 = 1.5$ い $3 \times 0.8 = 2.4$
 う $3 \times 1 = 3$
 え $3 \times 1.5 = 4.5$ お $3 \times 2 = 6$

積がかけられる数より大きくなる時、等しくなる時、小さくなるのは、それぞれかける数がどんな数のときですか。積とはかけ算の答えです。



大きくなる時・・・1より(大きい)とき
 等しくなる時・・・(1)のとき
 小さくなる時・・・1より(小さい)とき

まとめ(くうらんにうめましょう)

()とは、かけ算の答えです。

かける数が1より大きいとき、積がかけられる数より(大きくなる)
 かける数が1のとき、積がかけられる数と(等しくなる)
 かける数が1より小さいとき、積がかけられる数より(小さくなる)